

## 【NEWS RELEASE】

2021年10月29日

各位

株式会社三井住友銀行

ケネディクス株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ケネディクス株式会社（代表取締役社長：宮島 大祐）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例等を還元させていただく融資商品です。

今回のケネディクス株式会社に対する評価結果は、「従業員への配慮」、「事業活動における環境負荷低減の取組」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲をお持ちであるとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 「従業員の健康と快適性」をマテリアリティのひとつとし、時間単位休暇取得制度や時差出勤制度等、多様な働き方を可能とする様々な取組を実施しておられる点
- ② 投資法人の保有物件の中でエネルギー管理権限を有する物件を中心に、CO2排出量等を把握し、各REITにおいて「エネルギー消費量・CO2排出量・水消費量」について削減目標を定めるとともにモニタリングを実施しておられる点
- ③ 自社事業に関わるマテリアリティ（重要課題）を特定した上で、サステナビリティ方針を策定し、代表取締役社長統括のもと、広報・サステナビリティ推進部を中心とした推進体制を整備されている点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。